

# 総合資料館 業務概要

－ 平成26年度のまとめ －

京都府立総合資料館



## 目 次

1	新たな施設整備に向けた取組(経過)	1
2	新たな施設整備に向けた検討と連動した取組	6
3	利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)	6
	(1) 利用者等の状況	6
	(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況	7
4	展覧会、府民講座、情報発信の取組	8
5	新聞掲載	17
6	京都府行政文書修理事業	19
7	資料の収集・整理・保存	19
	(1) 図書資料	19
	(2) 文書資料	24
	(3) 管理委託現物資料	26
	(4) デジタル化	27
8	調査	27
	(1) 古文書	27
	(2) 行政文書	28
9	閲覧	28
	(1) 図書資料	28
	(2) 文書資料	31
	(3) 管理委託現物資料	33
10	東寺百合文書	34
	(1) ユネスコ世界記憶遺産の登録候補	34
	(2) 連続講座の開催(再掲)	34
	(3) 「東寺百合文書WEB」の二次公開	34
	(4) 翻刻	34
	(5) 百合通信の発行	34
11	共同研究等	35
	(1) 大学等研究機関との共同研究	35
	(2) 大学学外授業等の受入れ	35
	(3) 大学への出講	35
	(4) その他	35
12	図書館実習・インターンシップ	36
	(1) 図書館実習	36
	(2) インターンシップ	36
13	館蔵資料の撮影と複写	36
14	資料の貸与	37
	(1) 図書資料	37
	(2) 文書資料	38
	(3) 管理委託現物資料	38
15	図書館間相互貸出	40

(1) 府内公共図書館等	40
(2) 国立国会図書館	40
16 施設の状況	41
17 組織・業務分担・予算（平成27年4月1日現在）	41
(1) 組織	41
(2) 職員数	42
(3) 業務分担	42
(4) 予算状況（平成27年度当初予算）	43
18 平成26年度の主な活動	44
19 沿革	46
（参考）館蔵資料の国宝等指定一覧（平成27年3月31日現在）	51

## 1 新たな施設整備に向けた取組(経過)

府立総合資料館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集し、これを整理・保存して、閲覧に供し、又は展示することにより、府民の調査研究等一般に供することを目的として、昭和38(1963)年に設置されました。

平成19(2007)年以降、施設の老朽化、総合資料館の機能や取り巻く環境の変化等を踏まえ、より一層府民の皆様のご期待に応えうる施設となるよう、館の果たすべき役割・機能のあり方を見据えながら、次のとおり、新たな施設整備を進めています。

### ◆ 「総合資料館あり方検討プラン」(平成19年度策定)の概要

#### ○ 新たな総合資料館の基本コンセプト

「京都に関する資料を収集・保存・提供する施設」として、京都と日本の学術・文化の振興に貢献するとともに、だれもが身近に利用できる施設として府民ニーズに応える。

#### ○ 基本コンセプト実現のために担うべき5つの役割

- ① 京都に関する歴史・文化関係資料の収集・保存とデータベースの構築
- ② 京都に関する専門研究の振興
- ③ 生涯学習等の支援
- ④ 次世代の教育支援
- ⑤ ネットワーク機能の強化

#### ○ 新たな施設整備

府立大学をはじめとする大学等の研究機関や周辺施設等と連携しながら、所蔵資料の価値を最大限府民に還元できるよう、北山地域において新たな施設整備を図る。

### ◆ 「総合資料館基本構想」(平成20年度策定)の概要

#### ○ 基本方針

- ① 京都に関する過去・現在について調べることのできる施設として、創設以来蓄積してきたノウハウを十分に発揮し、京都に関する資料を的確に収集・保存し、後世に確実に継承するとともに、引き続き、収集・整理・提供に努める。
- ② 新資料館の基本姿勢、性格を明確にするため、収集・保存・提供に関するガイドラインを策定し、公表する。

#### ○ 重点事項

- ① 京都に関する資料の収集・保存と積極的活用
- ② 公文書館機能の充実
- ③ 研究・学習・教育支援とネットワーク機能の強化
- ④ 北山地域のなかの総合資料館

○ その他検討を要する課題

① 効率・効果的な運営

- ・開館日、開館時間、資料提供方法等の検討を進め、公表
- ・外部評価機関による評価・指導や協働・協力組織の育成

② 設置根拠等の整備

- ・新資料館設置条例、組織体制、名称・愛称

◆ 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告(平成21年度策定)の概要

北山地域が、府民が憩いやすらぐ場として、また、文化・環境・学術の交流発信拠点となるよう、将来像の基本的方向性『街区構想』を描く。

△ 街づくりのコンセプト

- 文化と環境に包まれたやすらぎと交流のなかで、京都を世界に発信する街
- 開放感あふれ、歩いてまわりたくなる街

△ 機能を整える視点(北山地域のエリアイメージ)

38ヘクタールもの広大な地域を、交通や人の流れ、周辺環境等を総合的に考慮し、次の5つのエリアに分け、そのイメージに沿った街づくりを進めることで、地域のポテンシャルを最大限に引き出す。

- 感じる(文化) …………… 主として北山通から近い地域
- 学ぶ(学術) …………… 主として北山通から遠い地域
- やすらぐ(環境) …………… 主として植物園地域
- 憩う(親水) …………… 主として賀茂川沿い地域
- ふれあう(交流) …………… 主として北山通沿い地域

△ 総合資料館と府立大学とが連携する新施設の整備の方向性

新資料館については、府立大学等との連携を格段に強化するとともに、「北山文化環境ゾーン整備推進」全体の観点から府立大学施設の一部との合同整備を進める。

- 新施設(新資料館、府立大学文学部研究室・附属図書館等)は、京都の歴史・文化に関する資料を収集・保存・調査・研究するとともに、広く一般に提供し、その調査・研究や学びを支援し、国内外に情報を発信する拠点とする。

- ① 「国際京都学センター」(資料館内)を設置し、全国的・国際的交流と情報発信の拠点とする。

<国際京都学センター>

- ・高度な「京都学」の構築・研究のコーディネーター
- ・京都研究の啓発・普及・支援活動の拠点
- ・センター設置に不可欠な総合資料館と府立大学(文学部研究室・附属図書館)の合同整備

- ② 連携強化による他の新たな機能の発揮
  - ・ 府立大学との連携強化により、双方の資料等の一層広範で利便性に富む府民提供方法の開発
  - ・ 京都調査・研究に関するレファレンスの積極的展開
  - ・ 府民との一層多様な研究・学習交流の場の提供
  - ・ 双方の特性を活かした院生や学生対象の各種教育プログラムの共同開発と社会人への提供等
- ③ 新総合資料館の新たな機能の展開
  - ・ 資料館「基本構想」で提案された4機能の基本方向の具体化と体制整備
  - ・ 府立大学、府立植物園等との連携の具体化
  - ・ 府立の図書館、郷土資料館等関係機関との連携の推進方を具体化（可能なものから実施）

◆ 北山文化環境ゾーン整備委員会検討結果(平成21年度)概要

- △ 新施設(新総合資料館、府立大学文学部・附属図書館の合同(1施設)整備)
  - 「国際京都学センター」の設置による全国的・国際的交流と情報発信
    - ・ 京都に係る「知」の更なる深化(共同研究の推進)
    - ・ 京都しらべ・学習環境の充実・強化
  - 総合資料館・府立大学文学部・附属図書館連携による機能・府民サービス向上
    - ・ 京都関係資料の収集・保存・提供、研究・学習・教育の充実・拡大
    - ・ 閲覧ワンフロア化と利用期間・時間拡大による府民サービスの向上
    - ・ 府民等の知的関心・活動への支援強化
    - ・ 施設規模 24,000㎡程度
  - 3大学(府立医大、府立大、京都工芸繊維大)教養教育共同化施設
    - ・ 3大学教養教育共同カリキュラム、3大学連携研究・ゼミ等の実施・学生等の交流
    - ・ 医科大学医学科・看護学科の教養教育の機能移転(研究室、実習室、講義室等)
    - ・ 施設規模 9,000㎡程度

◆ 新たな施設整備に向けた対応(平成22年度)概要

- 公募型設計競技の実施に向けた「新総合資料館(仮称)設計競技要項・設計条件(案)」の作成
  - ・ 新館は、「国際京都学センター」、府立大学文学部・附属図書館との複合施設
  - ・ 閲覧ワンフロア化をはじめとする諸形態・設計条件等について本庁・府立大学と調整
- 国際京都学センター設立準備委員会設立協議(本庁・府立大学との共同)
  - ・ 同センターのコンセプト、機能、体制等の検討

- 「京の記憶ライブラリ」の構築
  - ・総務省交付金を活用し、「京の記憶ライブラリ」システムの構築と東寺百合文書をはじめ約10,000点の資料をデジタル化した上で、従来の「京都北山アーカイブズ」を加え、「知デジ京都」としてリニューアル
  - ※「京の記憶ライブラリ」：キーワード、カテゴリー検索により画像等を検索・表示・印刷するシステム（23.4.1～館内運用、23.7.1～インターネット配信）
  
- ◆ 新たな施設整備に向けた取組（23年度）概要
  - 建築設計コンペ、基本設計、埋蔵文化財調査実施
  - 設計業者との協議（本庁、府立大学との共同）
    - 館内にハード検討チームを設置し、公募型設計協議により決定された設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
    - ① 新資料館部門：閲覧、展示、収蔵等の各施設の基本構造及び設備
    - ② 国際京都学センター部門：京都学ラウンジ、講堂、セミナー室等の基本構造及び設備
  - 国際京都学センター設立準備に係る協議（本庁、府立大学との共同）
    - ・同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
    - ・キックオフ事業の検討・予算化（国際シンポジウム、研究プロジェクト）
  - 統合データベース構築に係る検討・協議
    - ・京都の歴史・文化に関する発信拠点となるべく、館蔵資料（60万点）の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた検討・予算化
  - 所蔵資料に係る目録の電子データ化
    - ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成
  
- ◆ 新たな施設整備に向けた取組（24年度）概要
  - 基本・実施設計、埋蔵文化財調査実施
  - 設計業者との協議（本庁、府立大学との共同）
    - ・前年度から引き続き館内にハード検討チームを設置し、設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
  - 文化庁との協議
    - ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。
  - 統合データベース構築に係る仕様案の作成
    - ・館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた仕様案を作成
  - 所蔵資料に係る電子データ化
    - ・東寺百合文書のデジタル画像（5,494点、22,988コマ）を作成

- ・ 緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成
- ◆ 新たな施設整備に向けた取組（25年度）概要
  - 本体建築工事着工
  - 設計・機械・設備業者との協議（本庁、府立大学との共同）
    - ・ 設計・機械・設備業者と新資料館、国際京都学センターに係る施工図面についての協議を行った。
  - 文化庁との協議
    - ・ 文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。
  - 統合情報システム構築に係る仕様案の作成
    - ・ 館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向け、情報提供依頼（RFI）を行い、仕様案に反映
    - ・ ユネスコ世界記憶の登録に向け、東寺百合文書Web公開システムを構築し、約44,000画像をインターネットで公開
  - 所蔵資料に係る電子データ化
    - ・ 東寺百合文書のデジタル画像（13,210点、58,139コマ）を作成
    - ・ 緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録や地方新聞等のデジタル画像を作成
- ◆ 新たな施設整備に向けた取組（26年度）概要
  - 本体建築工事実施（掘削、躯体工事）
  - 設計・機械・設備業者との協議（本庁、府立大学との共同）
    - ・ 設計・機械・設備業者と新資料館、国際京都学センターに係る施工についての協議を行った。
  - 文化庁との協議
    - ・ 文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について協議を行った。
  - 所蔵資料に係る電子データ化
    - ・ 東寺百合文書WEBにデジタル画像を全点公開
  - 「京都の記憶遺産デジタルアーカイブ事業」の開始
    - ・ 古文書、行政文書、地図、写真資料、貴重書等のデジタル画像を作成
  - 統合情報システムの構築
    - ・ 京都府立大学、京都府立医科大学と、共用の図書システムを構築、運用開始
    - ・ 古文書・博物系・行政文書システム及び統合検索システムの構築

## 2 新たな施設整備に向けた検討と連動した取組

### ◆ 外部機関と連携した取組

- 府立大学文学部歴史学科との共同研究（平成14年度～）
  - ・ 近世広域行政機関（京都町奉行所等）文書の研究
  - ・ 古文書整理実習
- 府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）への参画
  - ・ 研究成果を3月7日の国際京都学シンポジウム「いづくどうどす一名所記と宇治茶の世界ー」において、「名所が見える？東寺百合文書」として発表
  - ・ 『上賀茂神社・上賀茂地区の地域史研究』において資料紹介及び報告書
- 京都の「地蔵」信仰と地蔵を活かした地域活性化事業（平成25年度～）
  - ・ 文化庁文化芸術振興費補助金を活用し、当館が事務局となり、花園大学などと連携して記録調査を実施。お地蔵さまサミットを開催。報告書を刊行
- 新聞連載事業
  - ・ 府立大学、京都新聞社と連携し、資料館所蔵の古典籍を題材に、古典籍の魅力を伝える新聞連載事業を実施（平成19年度～）
    - 平成22年度～ 「遊びをせんとや」

## 3 利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)

### (1) 利用者等の状況

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
開館日数	320 日	総合資料館府民講座	661人
		シンポジウム等	1,428人
閲覧室等利用者数	71,553 人	古文書入門教室	344人
図書閲覧室	42,990 人	歴史資料解読講座	442人
文書閲覧室	2,481人	古文書相談	7件
古文書	787人	展覧会	2,149人
行政文書	1,393人	資料の特別撮影・利用	354 件
写真資料	15人	(管理委託現物資料を含む)	1,173 点
近代文学資料	7人	資料の複写(電子式複写・デジタル画像プリント等)	11,320 件
その他	279人		235,541 枚
学習室	26,082人	資料の館外貸与	41件
図書の書庫出納冊数	53,204冊	(管理委託現物資料を含む)	※1 377点(冊)
図書資料の相談件数	12,737件		

※1 図書資料については、冊数で算出

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成26年度受払状況							累計 (平成27年3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換移 管引渡等	計			
図書資料 (文献課)	図書資料	805	2,334	984	—	4,123	15	4,108	373,302冊
	その他 <sup>※1</sup>	—	78	—	1	79	—	79	2,525点
	小計	805	2,412	984	1	4,202	15	4,187	375,827冊(点)
文書資料 (歴史資料課)	古文書 <sup>※2</sup>	—	370	—	—	370	2	368	128,012点
	行政文書	—	—	—	2,019	2,019	—	2,019	85,870点
	写真資料	—	59,974	—	—	59,974	—	59,974	66,833点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	23,788点
	その他 <sup>※3</sup>	—	—	—	—	—	—	—	256点
	小計	—	60,344	—	2,019	62,363	2	62,361	304,759点
管理委託 <sup>※4</sup> 現物資料	美術工芸資料	—	53	—	—	53	—	53	10,600点
	歴史民俗資料	—	—	—	—	—	—	—	18,939点
	その他 <sup>※5</sup>	—	—	—	—	—	—	—	23,173点
	小計	—	53	—	—	53	—	53	52,712点
合計		805	62,809	984	2,020	66,618	17	66,601	733,298冊(点)

※1 レコード、版木ほか。

※2 古文書の点数は、平成13年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

※3 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。

※4 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。

※5 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

## 4 展示、講座等、情報発信の取組

### ◆ 展示

#### (1) 展覧会の開催

本年度、当館展示室において、次の2件の展覧会を開催し、入場者数は延べ2,149人でした。

展覧会名	企画展「高瀬川開削400年記念～高瀬川と京都の水運～」
会期	平成26年9月13日（土）～10月12日（日）
展示の内容	<p>京都の発展に寄与してきた水運・舟運の歴史について、名所図会や古地図、行政文書など館蔵資料からわかりやすく紹介するとともに、関連テーマによる講演会を併せて実施。</p> <p>第1章：高瀬川の水運</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学作品にみる高瀬川</li> <li>・さまざまな高瀬川絵図</li> <li>・古典籍・古文書にみる高瀬川</li> </ul> <p>第2章：京都の水運</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高瀬川に関連する京都及び近郊の水運</li> <li>・木津川、宇治川、淀川、西高瀬川、琵琶湖疏水など</li> </ul> <p>○「西高瀬川デジタル遊覧」を大型ディスプレイで提供</p>
出品点数	72点
関連行事	<p>○記念講演会「高瀬川から生まれた徳川京都～大名屋敷・御土居藪・幕末政争～」 講師：中村武生氏（歴史地理史学者、京都女子大学非常勤講師） 日時：平成26年10月2日（木） 午後2時～4時</p> <p>○列品解説 平成26年9月18日（木） 午後2時～3時 9月25日（木） 午後2時～3時</p>
入場者数	1,959人（開催日数27日間、1日平均73人）

展覧会名	特別陳列「ユネスコ世界記憶遺産候補 東寺百合文書」
会期	平成26年11月15日（土）～16日（日）
展示の内容	関西文化の日参加事業として、2015年のユネスコ世界記憶遺産登録をめざしている東寺百合文書の一部を特別に陳列。
出品点数	12点
関連行事	○列品解説 平成26年11月16日（日） 午後2時～3時
入場者数	190人（開催日数2日間、1日平均95人）

(2) 館外での展示

本年度、館外において、次の2件の展示をしました。

会 期	展 示 名	場 所
平成26年4月2日(水) ～6月22日(日)	東寺百合文書－地域の記憶とその継承－	京都文化博物館2階総合 展示室
平成27年1月19日(月) ～23日(金)	暮らしにつながる行政文書－行政文書利 活用のすすめ－(パネル展示)	京都府庁2号館ロビー 展示コーナー

◆ 講座等

(1) 総合資料館府民講座

当館では、平成14年度から外部講師や当館職員により、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等のテーマで「総合資料館府民講座」を開催しています。本年度は7回開催し、受講者数は延べ1,006人でした。

本年度で3年目の開催となる「京都学へのいざない講座－京都力を探る－」は、「京のくらし」をテーマとして、京都府立大学との共催により4回実施しました。

年月日	演 題・講 師	会 場	受講 者数
平成26年 7月31日(木)	寺子屋講座「学ぼう！琵琶湖疏水」 小森 千賀子氏(琵琶湖疏水研究家)	総合資料館2階会議室	23人
平成26年 10月2日(木)	企画展「高瀬川開削400年記念～高瀬川と京都の水 運～」記念講演会「高瀬川から生まれた徳川京都～ 大名屋敷・御土居藪・幕末政争～」(再掲) 中村 武生氏(歴史地理史学者、京都女子大学非常 勤講師)	総合資料館4階講堂	360人
平成26年 12月8日(月)	京都学へのいざない講座 第1回 －京都力を探る－京のくらし①しょくじ「京の節句 料理」 大谷 貴美子氏(京都府立大学大学院生命環境科学 研究科教授)	京都府立大学学生会館	122人
平成27年 1月13日(火)	京都学へのいざない講座 第2回 －京都力を探る－京のくらし②すまい「京洛中の酒 蔵、蔵元のくらし」 川島 智生氏(京都華頂大学現代家政学部教授)	Coffee House 拾得、 松井酒造	33人
平成27年 1月29日(木)	京都学へのいざない講座 第3回 －京都力を探る－京のくらし③まつり「京都の『地 蔵』信仰と地藏盆」 師 茂樹氏(花園大学文学部准教授)	京都府立大学学生会館	234人

平成27年 2月15日(日)	京都学へのいざない講座 第4回 －京都力を探る－京のくらし④くらしかた「京都のくらし－市中と郊外」 五島 邦治氏 (京都造形芸術大学芸術学部教授)	京都府立大学大学会館	184人
平成27年 3月14日 (土・祝)	寺子屋講座 「京都の歴史を歩こう！2015－上賀茂編－」 東 昇氏 (京都府立大学文学部准教授)、 藤本 仁文氏 (京都府立大学文学部講師) ほか	上賀茂地区	50人
合 計			1,006人

### (2) 古文書入門教室・歴史資料解読講座

古文書解読に必要な基礎知識を解説する「古文書入門教室」と、館蔵資料等を活用して講義を行う「歴史資料解読講座」を開催しました。

なお、「古文書入門教室」は京都府立大学・大学会館を会場として、また、「歴史資料解読講座」は京都府立大学本館・合同講義室棟3階・第3講義室を会場として行いました。

#### 「平成26年度古文書入門教室」の開催状況

日 程	講 師	演 題	受講者数
平成26年12月15日(月)	土橋 誠 (当館職員)	仮名の歴史	118人
平成26年12月16日(火)		仮名文書を読もう	114人
平成26年12月17日(水)		仮名典籍を読もう	112人
合 計			344人

#### 「平成26年度歴史資料解読講座」の開催状況

日 程	講 師	演 題	受講者数
平成27年2月18日(水)	島津 良子氏 (奈良女子大学非常勤講師)	御用状にみる幕末期の地震 －人・もの・情報－	162人
平成27年2月19日(木)	山本 琢 (当館職員)	古文書からみえる陰陽師 －近世土御門家支配の様相－	154人
平成27年2月20日(金)	大塚 活美 (当館職員)	子爵石井行昌の写真趣味－石井行昌撮影写真資料を読み解く－	126人
合 計			442人

### (3) 古文書相談

古文書相談は、比較的軽易なものが多く、相談者の意向により随時郵送等により回答しました。相談件数は、合計で7件でした。

#### (4) バックヤードツアー

第20回京都ミュージアムロード参加事業として、3月11日（水）に総合資料館バックヤードツアーを開催しました。参加者は15人でした。

### ◆ シンポジウム等

#### (1) 地域史シンポジウム

当館では、地域に残る貴重な資料をはじめ、府内各地での地域史の研究を通じて地域の歴史・文化を学び未来に向かって伝えていこうとされている団体等の資料も収集し、利用に供しています。

こうした地域史の研究活動を広く紹介し、一層支援するとともに、国際京都学センターの開設に向け、府内地域の研究者や団体の方々とのネットワークを構築することを目的として、地域史シンポジウムを開催しています。第3回目となる本年度は、「地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム—乙訓地域の史料を守り・伝える—」をテーマとして向日市文化資料館において開催しました。

年月日	内 容	参加者数
平成26年 12月21日(日)	○第1部 事例報告 ・「むこうまち歴史サークルの活動」（佐藤 兼司氏） ・「地域史としての漢詩」（鶴野 高資氏） ・「歴史資料館と大山崎ふるさとガイドの会」（加藤 文則氏） ・「乙訓の文化遺産を守る会・古文書部会の歩み」（長谷川 澄夫氏） ○第2部 ディスカッション ・パネリスト 第1部の報告者 ・コーディネーター 若林 正博（当館職員）	136人

#### (2) 国際京都学シンポジウム

国際京都学センターの開設に向けて、今後の研究の進め方や成果の国内外への発信のあり方などを広く公開の場で意見交換し検討するために、当館と京都府立大学の主催により、平成24年度から「国際京都学シンポジウム」を開催しています。

本年度は、京都府立大学稲盛記念会館において開催しました。

また、府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）に参画し、3月7日に国際京都学シンポジウム「いっぷくどうどす—名所記と宇治茶の世界—」が開催されました。

国際京都学シンポジウム「都市と農村のロハスな関係」の開催状況

年月日	内容	参加者数
平成26年 11月3日 (月・祝)	<p>○基調講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「開発のための多様性と多様性のための開発 文化、農業そして持続可能な開発のための革新」 パルビス・クーハフカン氏（前FAO土地・水資源部長）</li> <li>・「森の恵みによってもたらされるロハスな関係 ケベック州の事例」 ナンシー・ジェリナ氏（ラヴァル大学教授）</li> <li>・「伝統と革新：食と農にみる京都ブランドの柔軟性」 グレッグ・デ・モーリス氏（ピッツバーグ大学院生）</li> </ul> <p>○報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「イタリアに見る都市と農村のロハスな関係」 宗田 好史氏（京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授）</li> <li>・「グリーン・ツーリズムとエコツーリズム」 宮崎 猛氏（京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授）</li> <li>・「ジビエを食べて考える森と私たちの関わり」 平山 貴美子氏（京都府立大学大学院生命環境科学研究科講師）</li> </ul> <p>○パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター 宗田 好史氏</li> <li>・パネリスト 宮崎 猛氏、平山 貴美子氏、グレッグ・デ・モーリス氏、スティーブン・マックグリービー氏（総合地球環境学研究所助教）、田中 和博氏（京都府立大学副学長）</li> <li>・司会 福井 亘氏（京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授）</li> </ul>	93人

国際京都学シンポジウム「いっぷくどうどすー名所記と宇治茶の世界ー」の開催状況

年月日	内容	参加者数
平成27年 3月7日(土)	<p>○第1部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「名所記の誕生ー『京童』と『洛陽名所集』ー」 藤原 英城氏（京都府立大学文学部教授）</li> <li>・「名所が見える？東寺百合文書」 岡本 隆明（当館職員）</li> <li>・「中国の茶と『洛陽名所集』」 小松 謙氏（京都府立大学文学部教授）</li> </ul> <p>○第2部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「宇治茶の歴史」 橋本 素子氏（京都光華女子大学非常勤講師）</li> <li>・「宇治の名所は茶畑だったー明治の欧米人のまなざしー」 野口 祐子氏（京都府立大学文学部教授）</li> <li>・（コメント） 上杉 和央氏（京都府立大学文学部准教授）</li> </ul>	約200人

(3) 東寺百合文書連続講座

ユネスコ世界記憶遺産候補となった『東寺百合文書』について、京都府立大学と共催

で、連続講座「世界のなかの東寺百合文書」を開催しました。第1回では、舞鶴引揚記念館の引揚関係資料展示と、同館山下晴美館長からの資料説明を行いました。また、各回とも講演後、各講師と横内裕人氏（京都府立大学文学部准教授）との対談を行いました。

ユネスコ世界記憶遺産候補 東寺百合文書連続講座「世界のなかの東寺百合文書」の開催状況

年月日	演題・講師	会場	受講者数
平成26年 9月27日(土)	東寺百合文書連続講座 第1回 「世界に散らばる日本資料」 金田 章裕氏（京都大学名誉教授・京都府特別参与）	京都大学医学部創立百周年記念施設 芝蘭会館稲盛ホール	80人
平成26年 10月26日(日)	東寺百合文書連続講座 第2回 「中世会計史と百合文書」 三光寺 由実子氏（和歌山大学経済学部准教授）	キャンパスプラザ京都 第2講義室	102人
平成26年 11月30日(日)	東寺百合文書連続講座 第3回 「戦国時代、ヨーロッパと出会った頃の百合文書」 天野 忠幸氏（関西大学非常勤講師）	キャンパスプラザ京都 第2講義室	115人
平成26年 12月14日(日)	東寺百合文書連続講座 第4回 「東寺の歴史と百合文書」 新見 康子氏（東寺文化財保護課長）	京都府立大学合同講義室棟第3講義室	122人
合計			419人

#### (4) Library of the Year 2014 大賞受賞報告会

「東寺百合文書WEB」での情報発信の姿勢が評価され、Library of the Year 2014 大賞を受賞したことを受け、大賞受賞報告会を総合資料館2階会議室で開催しました。

報告会では、Library of the Year 2014 の審査委員長、総合資料館の推薦者及び「東寺百合文書WEB」公開に携わった資料館職員の講演を行い、大賞受賞の意義や新館でのサービスにどのようにつなげていくかを考えました。

#### Library of the Year 2014 大賞受賞報告会

「世界に届け！百合文書 ～なんで資料館が「すごい」と言われたの？～」の開催状況

年月日	内容	参加者数
平成27年 2月1日(日)	○講演 ・「Library of the Year と総合資料館の大賞受賞」 大串 夏身氏（昭和女子大学特任教授・ Library of the Year 審査委員長） ・「Library of the Year での推薦プレゼン（裏 ver.）」 阿見 雄之氏（東京工業大学博物館特任講師・ Library of the Year 推薦者） ・「東寺百合文書WEBについて」 小森 浩一（当館職員）	70人

(5) お地蔵さまサミット

総合資料館が事務局を務める組織、京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業実行委員会の主催により、花園大学、京都市と共催で、お地蔵さまサミットを開催しました。

本サミットは、平成25・26年度と展開した地蔵の所在調査と地蔵盆の取材調査をもとに、地域団体・大学など様々な団体の参加を得て、情報交流と地域活性化を支援する催しとしてキャンパスプラザ京都2階ホール及び4階第2講義室において開催しました。

「お地蔵さまサミット」の開催状況

年月日	内容	参加者数
平成27年 2月22日(日)	<p>○活動報告展示及びトークセッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体の調査成果を披露するブースを展開</li> </ul> <p>&lt;参加団体&gt;地蔵プロジェクト（滋賀県大津市仰木）、京都大学工学研究科建築学専攻高田研究室（京都市下京区有隣元学区など都心部元学区）、西宮歴史調査団文化財調査ボランティア（兵庫県西宮市内）、高橋提灯株式会社（京都市左京区）、東市川地蔵盆運営委員会（京都市右京区太秦南東地域）、ふるさとの良さを活かしたまちづくりを進める会（京都市山科区及びその周辺を中心とした地域）、紫野まちづくり委員会（京都市北区紫野周辺）、長池まちづくり協議会（城陽市長池駅周辺地区）、山田 章博氏（有限会社市民空間きょうと・京都市中京区南東部）、京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課（京都市内全域）、花園大学文化遺産学科（京都市内全域）、京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業実行委員会（京都府内全域）</p> <p>○展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイルとホコラとツーリズム（谷本 研氏、中村 裕太氏）（現代美術）</li> <li>・神谷 潔氏（写真・京都市左京区地区、上京区（丸太町以北、西大路以北東））</li> <li>・森 篤氏（写真・京都市右京区、西陣を中心とした京都市内全域）</li> </ul> <p>○基調講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本人と地蔵信仰」 芳井 敬郎氏（花園大学教授）</li> </ul> <p>○シンポジウム「お地蔵さまの過去・現在・未来」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター 師 茂樹氏（花園大学准教授）</li> <li>・パネリスト 角南 聡一郎氏（元興寺文化財研究所研究員）</li> <li>村上 紀夫氏（奈良大学講師）</li> <li>井口 和起（当館顧問）</li> </ul>	350人

◆編集・刊行

平成26年度に編集・刊行した刊行物は次のとおりです。

①「平成26年度京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業報告書」

京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業実行委員会（事務局：総合資料館蔵）編集・発行 A4判 50頁

②「資料館紀要」第43号 A5判 271頁

- ・東寺百合文書と中世アーカイブズ学研究の黎明  
ー百合文書のデジタル画像の公開によせてー
- ・山城国守護伊勢貞陸と戦国期の京郊荘園ー福地光長の代官請負からみるー
- ・京阪六地蔵線、新京阪山科線と名古屋急行  
ー行政文書から探る昭和初期の鉄道計画ー
- ・〈業務報告〉 東寺百合文書のデジタル化とウェブ公開について

③「総合資料館だより」No.179～182

○ No.179 (平 26. 4. 1) 8頁

- ・「東寺百合文書 WEB」を公開
- ・文献課の窓から 大学入試制度の変遷
- ・歴史資料課の窓から 近藤豊撮影写真資料
- ・最近の収集資料から (平成 25 年 12 月～平成 26 年 2 月)
- ・平成 25 年度に実施した総合資料館開館 50 周年記念事業一覧
- ・友の会事務局から、古文書相談、利用案内

○ No.180 (平 26. 7. 1) 8頁

- ・「京都のいま」を記録する活動として
- ・文献課の窓から 時代を映す鏡～京都関係雑誌に見る水害記録～
- ・歴史資料課の窓から 維新前民政資料 園部藩主参勤交代行列図
- ・最近の収集資料から (平成 26 年 3 月～5 月)
- ・平成 26 年度の事業予定について
- ・講座案内、友の会事務局から、利用案内等

○ No.181 (平 26. 10. 1) 12頁

- ・平成 26 年度企画展「高瀬川開削 400 年記念～高瀬川と京都の水運～」
- ・文献課の窓から 「叢書～体系化された知を活用しよう！～」
- ・歴史資料課の窓から 「東寺百合文書WEBに見える文書の数」
- ・文化資源情報ネットワーク会議報告
- ・最近の収集資料から (平成 26 年 6 月～8 月)
- ・講座案内、行事カレンダー、友の会事務局から 等

○ No.182 (平 27. 1. 1) 12頁

- ・祇園社雪中 (『京都十景』より)
- ・知事年頭あいさつ
- ・歴史資料課の窓から 「京の御役所、その仕事と資料 ー京都町奉行所を中心にー」
- ・文献課の窓から 「南山城の正月行事 ー木津川市山城町を中心にー」
- ・最近の収集資料から (平成 26 年 9 月～11 月)
- ・Library of the Year 2014 大賞受賞!
- ・行事案内、友の会事務局から、利用案内等

① 「ユネスコ世界記憶遺産候補 国宝「東寺百合文書」」 A3判 二つ折り カラー 3000 部

- ・東寺百合文書とは
- ・京都府立総合資料館でのこれまで
- ・ユネスコ世界記憶遺産に向けて
- ・東寺百合文書 WEB

◆ホームページ

平成14年7月19日に開設した当館のホームページでは、休館日・所在地等の利用案内、講座・展覧会等の各種行事案内、館蔵資料の概要等を紹介しています。

- レファレンス事例について、56項目を追加しました。
- 平成18年10月5日に創刊した「総合資料館メールマガジン」は、隔週水曜日に発行しています。配信状況は下記のとおりです。

メールマガジン配信状況（平成26年4月～平成27年3月末）

号数	配信日	部数	号数	配信日	部数	号数	配信日	部数
第196号	4月2日	612	第205号	8月6日	609	第213号	11月26日	615
第197号	4月16日	612	第206号	8月25日	610	第214号	12月10日	618
第198号	4月30日	612	第207号	9月12日	607	第215号	12月24日	624
第199号	5月14日	615	第208号	9月18日	607	第216号	1月7日	629
第200号	5月28日	616	第209号	10月1日	606	第217号	1月21日	627
第201号	6月11日	615	第210号	10月15日	610	第218号	2月4日	627
第202号	6月25日	616	第211号	10月29日	611	第219号	2月18日	641
第203号	7月9日	614	号外	11月4日	610	第220号	3月4日	647
第204号	7月23日	611	第212号	11月12日	609	第221号	3月18日	647

◆資料館友の会の活動

当館の事業に協賛する方々によって、友の会が組織されており、本年度の会員数は190人でした。主な活動内容は以下のとおりです。

- ① 友の会結成50周年記念行事（対談等）  
平成26年10月2日（木）に総合資料館（4階 講堂）において実施し、41人の参加がありました。
- ② 現地講座  
平成26年10月14日（火）に予定しておりました東寺での現地講座は、大型の台風の影響を考慮し、残念ながら中止しました。
- ③ 見学会  
平成26年11月20日（木）に滋賀県の佐川美術館、三重県のパラミタミュージアムにおいて実施し、52人の参加がありました。
- ④ 「総合資料館だより」の発行・配付  
館と共同でNo. 179からNo. 182を発行しました。

## 5 新聞掲載

年月日	新聞名	見出し
平成26年 4月1日	京都新聞	身近にある。隠れた歴史（「我楽多珍報」）
4月2日	京都新聞	漢学塾資料 寄託へ 府立総合資料館に 1年かけ本格調査
4月3日	京都新聞	京都文博 信長の禁制も 3期に分け 東寺百合文書を公開
4月4日	京都新聞	地蔵盆 地域の個性反映 夏の風物詩 研究進む
4月19日	京都新聞	遊びをせんとや・50 新古今和歌集・西行のころ
4月25日	京都新聞	「東寺百合文書」ネット公開 画像3万6千追加
4月28日	朝日新聞	茂吉再婚うらやむ一首 友人・吉井勇あて絵はがき発見
4月29日	京都新聞	茂吉 友人再婚祝う 歌人・吉井勇への短歌発見 自分も「恋の凱旋を」
5月17日	京都新聞	遊びをせんとや・51 衣服にも身分の違い歴然と（「百人女郎品定」）
6月13日	京都新聞	記憶遺産候補 シベリア抑留資料選定 東寺百合文書も
		東寺百合文書記憶遺産候補 安堵も「身引き締まる」 国際的活用へ情報発信
		記憶遺産候補決定 舞鶴の保管態勢評価 登録は予断許さず
	読売新聞	記憶遺産国内候補 舞鶴引き揚げ記録 東寺百合文書
		記憶遺産国内候補 登録へ高まる期待 「過酷な体験 後世に」舞鶴市長 「古文書保存に注目」研究者
		「百合文書」「引き揚げ記録」記憶遺産候補 ダブル推薦歓喜、期待 総合資料館英訳進めアピール
	日経新聞	東寺百合文書／シベリア抑留資料 記憶遺産候補に ユネスコ国内委
朝日新聞	「舞鶴への生還」「東寺百合文書」世界記憶遺産の国内候補決まる	
	記憶遺産推薦百合文書・引き揚げ記録 思い届いた喜び2倍	
毎日新聞	世界記憶遺産東寺百合文書候補に 国内選考2件シベリア抑留資料も	
産経新聞	国宝「東寺百合文書」「シベリア抑留資料」世界記憶遺産の国内候補	
6月17日	京都新聞	地蔵盆 自治に大切な役割 山科の市民団体パネル討論 提案や調査報告も
6月21日	京都新聞	遊びをせんとや・52 受験参考書はおまけが売り物（「少微通鑑節要」）
6月26日	京都新聞	“京の広重”鳥瞰図華麗 吉田初三郎生誕130年 パンプなど展示
7月2日	京都新聞	東寺百合文書の翻刻版など展示
7月19日	京都新聞	遊びをせんとや・53 西洋天文学を紹介（「遠西観象図説」）
8月1日	京都新聞	疏水の歴史 紙芝居で伝え 北区の元小学校教諭訪問授業や市民講座で（寺子屋講座）
8月8日	京都新聞	建物疎開残酷さ今に 京の実態、心情聞き取り 研究者が本に
8月9日	京都新聞	揺らぐ平和と記憶 戦後X年目の語り方 2京丹後の基地 米軍が水使い乾いた棚田（行政文書「尾和建設事業一件」）

		揺らぐ平和と記憶 60年前基地負担秘史に（行政文書「進駐軍事故見舞金支出負担行為書」）
8月13日	京都新聞	24時間 米軍機見張り 京の男性、「防空監視哨」証言（「知事事務引継」）
8月14日	京都新聞	地図語る「進駐軍の京都」（文献課「City Map of Kyoto」）
8月16日	京都新聞	遊びをせんとや・54 元隊士の回想「新撰組往時実戦談書」
9月4日	京都新聞	京うつろいの美11 重陽のきせ綿 光源氏の寂しさ（「絵本京草子」） 東寺百合文書で27日から連続講座 府立資料館と府立大
9月11日	京都新聞	企画展「高瀬川開削400年記念—高瀬川と京都の水運」
9月13日	京都新聞	目引く高瀬川全図 開削400年記念の史料展 京都の水運紹介
	毎日新聞	水運の変遷たどる71点 「高瀬川開削400年」企画展
9月15日	読売新聞	高瀬川 水運の歴史紹介 左京で企画展 江戸期「全図」や明治の写真
9月20日	京都新聞	遊びをせんとや・55 中国から京、そして江戸へ（「牡丹灯籠」）
10月18日	京都新聞	遊びをせんとや・56 万葉集から歌を探すなら（「類葉抄」）
10月24日	京都新聞	世襲で守る 男の心意気 鞍馬の火祭 危機越え半世紀
11月8日	京都新聞	ライブラリー・オブ・ザ・イヤー 府立総合資料館が大賞
11月15日	京都新聞	遊びをせんとや・57 文字で表す三味線テキスト（「大怒佐」） 東寺百合文書 きょう、あす公開 足利義詮の書など12点
12月9日	京都新聞	京都の節句料理 継承を 府立大で講演（いざない講座）
12月20日	京都新聞	遊びをせんとや・58 歴史と文化 魅惑の杭州（「南宋雑事詩」）
12月29日	京都新聞	京都の「記録」考える 来月18日、文化遺産フォーラム
平成27年 1月7日	京都新聞	<洛中洛外>『東寺百合文書』翻刻版第11巻の発行 1度きり 母の歌に包まれ 予算に制限 デジタル化二の足（「京都府の民謡」）
1月15日	京都新聞	<洛中洛外> 東寺百合文書リーフレット作製
1月16日	京都新聞	都市計画、戦時の企業統制・・・酒蔵減少の背景解説 上京で講演会（いざない講座第2回）
1月19日	京都新聞	記録を残す心が文化財 記憶遺産フォーラム 立命大朱雀キャンパス
1月22日	京都新聞	歴史資料解説講座 来月18日～20日に 府立資料館
1月24日	京都新聞	遊びをせんとや・59 庶民への普及 決定的に（「枕草子春曙抄」）
1月27日	京都新聞	京都学へのいざない講座・まつり—京都の「地蔵」信仰と地蔵盆
1月30日	京都新聞	ライブラリー大賞受賞報告会、1日に 府立総合資料館
2月2日	京都新聞	東寺百合文書ウェブ公開を紹介 府立総合資料館 図書館大賞受賞で報告
2月9日	京都新聞	15年度当初予算 府、一般会計9630億円 未来創生分野に重点
2月10日	京都新聞	15年度府当初予算案 防災・少子化に注力 過去最大規模に 新総合資料館 充実 新総合資料館充実
2月13日	京都新聞	京都学へのいざない講座・くらしかた「京都のくらし—市中と郊外」

		1000年の知恵 100年先へ 「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」第4回フォーラム「記録が結ぶ『時の絆』～世界記憶遺産」
2月18日	京都新聞	新資料館来秋開館へ 府が方針 植物園も整備
2月19日	京都新聞	新家桑太郎の借用証発見 府立総合資料館 志賀郷村の村歌 復活 綾部（志賀郷村時報）
2月21日	京都新聞	お地蔵さまの役割再確認を 聞き取り調査を報告 パネル展も 遊びをせんとや・60 後西院院から後西天皇へ（「雲上便覧大全」）
2月23日	京都新聞	京のお地蔵さま熱く 15団体・個人がサミットで発表 京の剣鋒 301本現存 住民組織60力所で継承
2月27日	京都新聞	府立大院生 府立資料館の移転跡地活用住民らと話し合う 図書館カフェなど3案
3月21日	京都新聞	遊びをせんとや・61 ダーツ似、来歴やルール図（「投壺小笈」）

## 6 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」（京都府立庁前年（慶応3年）から昭和21年度までの15,407点）について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は敗戦直前の建物疎開関係資料を中心に11点の修理を行ったほか、経常的な手当を102点に行いました。

## 7 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・ 図書資料（文献課）  
図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物（写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。）及びこれに準ずる資料
- ・ 文書資料（歴史資料課）
- ・ 管理委託現物資料

## (1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入（冊）	寄贈（冊）	取得等（冊）	計（冊）
京都資料	371	946	499	1,816
人文資料	174	1,013	89	1,276
官庁資料	京都関係	63	232	325
	国・他府県	197	143	71
合計	805	2,334	984	4,123

そのうちの主な資料は、次のとおりです。

## ア 京都資料

書名	著編者等	備考
醍醐寺文化財調査百年誌 修験道聖護院史辞典 近世の禁裏と都市空間 京田辺・木津川・綴喜・相楽の今昔 京都まちかど遺産めぐり 沿革史 京都市立商業實修学校一覧 明治44年8月 フンコロガシ先生の京都昆虫記 京の茶道具作家名鑑	醍醐寺文化財研究所編 首藤善樹著 岸泰子著 中津川敏朗監修 千田稔〔ほか〕編著 京都市銅駝尋常小學校編 京都市立商業實修学校編 塚本珪一著 淡交社編集局編	購入
新編八坂神社文書 第1部・第2部 千年響流 勝林院開創一千年紀慶讃法要紀念 竹間 竹間こども風土記 むこうまち歴史サークル十五周年記念誌 城陽市歴史民族資料館友の会設立10周年記念誌 東堅町誌 丹後王国物語 京都ライオンズクラブ60周年記念誌 京都府立綾部高等学校創立百二十周年記念誌 宇川中学校閉校記念誌 新聞記事で見る50年の活動記録	臨川書店 勝林院一千年紀実行委員会編 竹間自治連合会〔編〕 むこうまち歴史サークル1班・2班・3班・4班〔編〕 城陽市歴史民族資料館友の会〔編〕 東堅町自治会文化委員会町誌編纂部会編 丹後建国1300年記念事業実行委員会編 京都ライオンズクラブCN60周年記念誌部会編集 京都府立綾部高等学校同窓会創立百二十周年記念誌編纂委員会編 宇川中学校閉校記念誌編集委員会〔編〕 鴨川を美しくする会〔編〕	寄贈

西山自然保護ネットワーク 12年の歩み 嵯峨製材協同組合 50周年記念誌 京都アートカウンシル 15周年記念誌  京都国立近代美術館 50年史 塔事典 塔短歌会六〇周年記念	西山自然保護ネットワーク [編] 嵯峨製材協同組合 [編] 京都アートカウンシル 15周年記念誌制作委員会著 京都国立近代美術館編集 塔短歌会編、永田和宏[ほか]監修	
京都府立総合資料館 50周年記念誌 建物疎開と都市防空 図説丹波八木の歴史 第2巻・第3巻 人間のための科学技術を求めて 同志社大学工学部の70年 京丹後市の民俗 京丹後市史資料編 凱旋 祇園祭大船鉾復原の歩み 南山城大水害 60周年記念誌 京都・鴨川 七条大橋百年物語  京都環境保全公社四十年史	京都府立総合資料館編集 川口朋子著 八木町史編集委員会編集 同志社大学工学部 70年史編集委員会編  京丹後市史編さん委員会編集 四条町大船鉾保存会 [編] 京都府山城広域振興局 [編] 京都景観フォーラム・鴨川を百年見つめる 七条大橋とあゆむ会 [編] 京都環境保全公社社史編纂委員会編	取得

## イ 人文資料

区分	書名	著編者等	備考
参考図書	実践型レファレンス・サービス入門	斎藤文男・藤村せつ子著	購入
	参考図書解説目録 2011-2013	日外アソシエーツ編集部編	
	ブリタニカ国際年鑑 2015	ブリタニカ・ジャパン刊	
	博物館学年表 法令を中心に 1871>>>2012	椎名仙卓・青柳邦忠著	
日本病院史	日本病院史	福永肇著	寄贈
	高さ制限とまちづくり	大澤昭彦著	
	図書館とともに キハラ 100年の歩み	キハラ 100周年記念誌編集委員会企画・編集	
アーカイブズの構造認識と編成記述	近世・近代初期書籍研究文献目録	国文学研究資料館編	取得
	よりすぐり国立国会図書館 デジタル公開資料から	鈴木俊幸編	
	近代遺跡調査報告書 政治<官公庁等>	国立国会図書館編 文化庁文化財部記念物課 [編]	
	板木は語る	永井一彰著	取得

宗教・歴史	<p>神道思想史研究</p> <p>伊勢神宮と日本文化 式年遷宮“常若”の英知</p> <p>日本古代の首都と公共性 賑給、清掃と除災の祭祀・習俗</p> <p>小堀遠江守正一発給文書の研究</p> <p>第一回普選と選挙ポスター 昭和初頭の選挙運動に関する研究 慶応義塾大学法学研究会叢書 85</p> <p>東アジア海域に漕ぎだす 全6巻</p> <p>公卿補任図解総覧 大宝元年(701)～明治元年(1868)</p>	<p>高橋美由紀著</p> <p>所功著</p> <p>榎木謙周著</p> <p>藤田恒春著</p> <p>玉井清著</p> <p>小島毅監修</p> <p>坂田桂一著、所功監修</p>	購入
	<p>出雲大社展 平成の大遷宮</p> <p>井伊直弼のころ 百五十年目の真実</p> <p>二楽荘と大谷探検隊 シルクロード研究の原点と隊員たちの思い</p>	<p>島根県立古代出雲歴史博物館編</p> <p>彦根城博物館編</p> <p>龍谷大学龍谷ミュージアム編</p>	寄贈
	<p>東寺百合文書 11</p> <p>日本パノラマ大図鑑 初三郎式鳥瞰図「誕生」100年</p>	<p>京都府立総合資料館編</p> <p>宇治市歴史資料館編</p>	取得
美術・芸能・写真	<p>図像解釈学 権力と他者 (仏教美術論集4)</p> <p>近江の古像</p> <p>写真の百科事典</p> <p>明治の刺繍絵画名品集 清水三年坂美術館コレクション</p> <p>日本古代の武具 『国宝珍宝帳』と正倉院の器仗</p> <p>茶花大事典 上・下巻</p> <p>中世後期の香文化 香道の黎明</p>	<p>加須屋誠編</p> <p>高梨純次著</p> <p>日本写真学会編</p> <p>村田理如[編]著、松原史解説</p> <p>近藤好和著</p> <p>塚本洋太郎監修</p> <p>本間洋子著</p>	購入
	<p>東山御物の美 足利将軍家の至宝</p> <p>四国へんろ展 空海の足音 高知編</p> <p>宗像大社国宝展 神の島・沖ノ島と大社の神宝</p> <p>皇室の名品 近代日本美術の粋</p> <p>ボストン美術館 華麗なるジャポニスム展 印象派を魅了した日本の美</p> <p>竹久夢二展 生誕一三〇年 ベル・エポックを生きる 夢二とロートレック</p> <p>井戸茶碗 戦国武将が憧れたうつわ</p> <p>布の道標</p> <p>デザイナー芦沢銚介の世界展 生誕120年記念</p> <p>造化自然 銀閣慈照寺の花</p> <p>*日本美術全集 5, 7, 9, 12, 15, 16, 17巻</p> <p>*中国繪畫總合圖録 3編第2巻 アメリカ・カナダ篇 2</p> <p>*大徳寺伝来五百羅漢図</p>	<p>三井文庫・三井記念美術館編</p> <p>高知県文化財団編</p> <p>出光美術館編</p> <p>京都国立近代美術館・宮内庁三の丸尚蔵館・日本経済新聞社編</p> <p>世田谷美術館ほか編</p> <p>竹久夢二[画] 朝日新聞社編</p> <p>根津美術館編</p> <p>斎藤貞一郎著</p> <p>朝日新聞社企画事業本部文化事業部編</p> <p>珠寶著</p> <p>辻惟雄ほか編集委員</p> <p>東京大学東洋文化研究所編</p> <p>奈良国立博物館編</p>	寄贈

	*狂言絵 彩色やまと絵（国文学研究資料館影印叢書6） *七十一番職人歌合 前田育徳会尊経閣文庫所蔵	国文学研究資料館編 前田育徳会尊経閣文庫編	
	史料としての猫絵（日本史リブレット79） 光の賛歌   印象派展 パリ、セーヌ、ノルマンディの水辺をたどる旅	藤原重雄著 五木田聡監修、東京富士美術館編	取得

\*印の資料5点は、財団法人京都高等学校から御寄贈いただきました。

#### ウ 官庁資料

区分	書名	著编者等	備考
京都関係	わたしたちの市税 平成26年度 京（みやこ）・地域福祉推進指針 2014	京都市行財政局税務部税制課編 京都市保健福祉局生活福祉部地域福祉課〔編〕	寄贈
	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 大学・まち・学生むすぶプラン 2014-2018 京都市の水道技術 京都観光総合調査 平成25年 久御山町洪水ハザードマップ 男山地域再生基本計画 木津川市ごみ減量化推進計画 もったいないプラン  精華町町勢要覧資料編 統計で見る「せいか」平成25年版 原子力防災のしおり 南丹市版  舞鶴市市制施行70周年記念誌 このタカラモノを未来へ 消防年報 平成25年度版	京都市〔編〕 大学コンソーシアム〔編〕 京都市上下水道局編 京都市産業観光局編 久御山町〔編〕 八幡市〔編〕 木津川市生活環境部まち美化推進課編 精華町総務部企画調整課編  京都府府民生活部防災・原子力安全課、南丹市総務部総務課編 舞鶴市企画管理部企画室広報広聴課編 宮津与謝消防組合消防本部〔編〕	
	参議院議員通常選挙選挙の記録 平成25年7月21日執行 国の施策及び予算に対する政策提案 平成27年度 政府予算に関する重点要望書 平成27年度 関西広域連合広域計画 ベンチマークレポート 「明日の京都」実施状況報告書 京都府統計書 平成24年 支援者のための若年性認知症京都オレンジガイドブック 京都府水防計画 平成26年度 維持管理年報 桂川右岸流域下水道・木津川流域下水道・宮津湾流域下水道・桂川中流流域下水道・木津川上流流域下水道 平成24年度 商工労働観光行政施策の大綱 平成26年度	京都府選挙管理委員会編 京都府編 京都府編 関西広域連合本部事務局編 京都府編 京都府政策企画部調査統計課編 京都地域包括ケア推進機構認知症総合対策推進プロジェクト編 京都府編 京都府流域下水道事務所編  京都府商工労働観光部産業労働総務課編	取得

国	男女共同参画白書 平成26年版 国民経済計算年報 平成26年6月 気象業務はいま 2014 日本の水産資源 平成26年版 国民健康保険の実態 平成25年度版 数字でみる物流 2014年版	内閣府男女共同参画局編 内閣府経済社会総合研究所編 気象庁編 国土交通省水管理・国土保全局編 国民健康保険中央会編 日本物流団体連合会編	購入
	政府開発援助（ODA）国別データブック 2014 民間非営利団体実態調査報告 平成24年度 森林及び林業の動向 平成25年度 地域の資源を活かす再生可能エネルギー事業 近畿の運輸行政 2014	外務省経済協力局編 内閣府経済社会総合研究所編 林野庁編 環境エネルギー政策研究所編 国土交通省近畿運輸局編	寄贈
	地域保健・健康増進事業報告 平成24年度  工業統計表 平成24年	厚生労働省大臣官房統計情報部編 経済産業省大臣官房調査統計グループ編	取得

## エ 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数
京 都 関 係	3,050	5
一般(歴史・美術・官庁等)	2,895	95
京 都 官 庁 関 係	784	—
計	6,729	100

## (2) 文書資料

### ア 古文書

#### (7) 収集

本年度、収集した古文書は、次のとおりです。

区分	文書群名 (資料名)	形態	目録 点数	資料概要 (地域)	資料概要 (年代)	資料概要 (内容／特記)	備考
近世・近代	木津小寺村喜多家文書	古文書	336	木津川市	宝暦12年 (1762)～明治 35年	木津郷小寺村一条家領の庄屋 役等を務めた亀屋幸右衛門家 (喜多家)に伝来した文書。	寄贈
	清水家資料	古文書	17	京都市下京 区	昭和18～43年	戦中・戦後の庶民の生活規制 や傷病補償に関わる資料。	寄贈
	志賀郷自治会旧 蔵文書	古文書	17	綾部市	元文6年 (1741)～天保 4年(1833)	綾部市志賀郷地域の村々の共 有山であった奥山に関する山 論訴訟一件の文書。	寄贈

文書複製資料の収集・所蔵状況

資料区分	平成26年度収集			累 計(平成27年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古 文 書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	10	84	1,043
合 計	—	—	—	566	1,472	3,248

(イ) 整理・保存

a 古文書の整理

本年度、整理した古文書は、次のとおりです。

区分	文書群名(資料名)	形態	目録点数	備考
近 世 ・ 近 代	木津小寺村喜多家文書	古文書	336	終了・公開
	清水家資料	古文書	17	終了・公開
	志賀郷自治会旧蔵文書	古文書	17	終了・公開
	上野家文書	古文書	34,902	終了・一部公開 ・公開準備中

b 古文書の燻蒸

藤野大吉家旧蔵資料・佐々木米行氏関連資料等の紙製保管箱入、大15箱・小63箱の約3,400点、その他3点(木札1点、大型額2点)について燻蒸しました。

イ 写真資料

(ア) 収集

本年度は、近藤豊撮影写真資料・第1次寄贈分の59,974点を収集しました。

(イ) 整理・保存

本年度、整理した写真資料は、次のとおりです。

- ・佐藤辰三・佐藤旭撮影写真資料3,100点のうち、ガラス乾板606点とフィルム(キャビネ・4×5・6×7等)2,000点の目録完成
- ・近藤豊撮影写真資料約62,000点(第2次寄贈予定分)の目録原稿の完成

ウ 行政文書

(ア) 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は、以下のとおり2,019点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管	
完 結 年 度	点数
昭和63年度	1,473
過年度分(昭和39～62年度完結)	480
合 計	1,953

有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	点数
昭和56年～平成15年度	66

(イ) 整理

平成26年度に移管を受けた永年保存文書については、目録の作成、請求番号の付与、書架への排架等を行い公開するとともに、所蔵する有期限文書についても目録の作成等により公開の準備を進めています。

また、各簿冊に綴じられたファイル毎の件名目録の電子化により、将来構築する統合データベースで検索・閲覧できるよう準備を進めています。

文書の区分	作成目録	点数
永年保存文書（平成26年度移管文）	簿冊目録	1,953
有期限保存文書	簿冊目録	1,103

(ウ) 保存

a 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

b 文書の移動

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき引渡しを受けた文書44点について、平成27年3月6日に旧周山保健所庁舎の行政文書文書庫へ移動しました。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料は 53点で、明細は次のとおりです。

部門		資料名	点数	区分	寄贈者名
美術 工芸 資料	日本画	「中世イタリア壁画模写」	2	寄贈	堀泰明
	日本画等	京都、山口をゆかりとする南画家・日本画家の近世・近代における資料	14	寄贈	林やゑ

竹工芸	竹工芸作品	13	寄贈	野口定江
陶磁器	茄子釉 大鉢 2003	1	寄贈	木村盛伸
版画	版画資料	19	寄贈	釋和子
陶磁器	陶磁器	4	寄贈	木村盛康
合計		6件 53点		

#### (4) デジタル化資料

本年度、東寺百合文書のうち約 36,000 画像をインターネットに公開しました。本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	公開時期	内容
貴重書データベース	平成13年5月～	1,146点 (55,853画像) *1
京都北山アーカイブズ	平成16年4月～	3,438点 (20,762画像) *2
行政文書アーカイブズ	平成21年3月～	229点 (3,607画像)
京の記憶ライブラリ	平成23年4月～	1,713点 (約1万画像)
東寺百合文書WEB	平成26年3月～	18,704点 (約80,000画像)

\*1 府立図書館がデータ管理

\*2 館内のみ公開を含む。

デジタル展覧会名	公開時期	内容
馬の人形展	平成14年～	128点 (65画像)
総合資料館収蔵品展 (平成16年度)	平成16年～	41点 (61画像)
企画展「先人達の京都研究」	平成19年2月～	80点 (112画像)
京の鳥瞰図絵師 吉田初三郎	平成21年2月～	29点 (40画像)

## 8 調査

### (1) 古文書

本年度、調査した文書は次のとおりです。

区分	調査名	調査先	期間	関連地域	概要
近世・近代	所蔵資料 概要調査	個人宅	平成26年7月16日	京都市 北区	文献課と共同調査 儒学者が所蔵していた資料の概要調査、および所蔵者への整理保管方法などの助言
写真資料	所蔵資料 概要調査	個人宅	平成26年10月9日	京都市 北区	「木村時計店」の時計台の写真等

## (2) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書の内、保存期限が経過した有期限保存文書(平成5年度完結20年保存、平成15年度完結10年保存等)2,470点から44点を選別しました。

また、各課共用書庫に保管された平成20年度完結5年保存文書の内、保存年数が経過して廃棄対象となった有期限保存文書2点の文書を選別しました。

# 9 閲 覧

## (1) 図書資料

### ア 図書閲覧室

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室で290席あります。開架図書約5万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料は閲覧請求のうえ利用できます。

本年度の利用者数は42,990人(1日平均134人)、書庫出納冊数は53,204冊でした。

### イ 学習室

自習室で140席あります。本年度の利用者数は26,082人(1日平均82人)でした。

### 閲覧室等利用状況

年月	開館 日数	図書閲覧室 (1日あたり)	学 習 室 (1日あたり)	書 庫 出納冊数	図書資料の相談件数			
					口頭	電話	文書	
	日	人 (人)	人 (人)	冊	件	件	件	件
26年4月	28	3,306 (118)	2,180 (78)	4,201	938	831	85	22
5	27	3,621 (134)	2,372 (88)	4,898	1,127	1,007	93	27
6	29	3,700 (128)	2,398 (83)	4,244	1,120	1,016	83	21
7	29	4,203 (145)	2,688 (93)	5,156	1,225	1,115	96	14
8	30	4,202 (140)	2,998 (100)	5,273	1,250	1,131	91	28
9	27	3,509 (130)	1,976 (73)	4,203	1,177	1,055	85	37
10	17	2,479 (146)	1,464 (86)	3,860	788	675	90	23
11	27	3,647 (135)	1,848 (68)	5,695	1,130	1,008	91	31
12	25	3,093 (124)	1,894 (76)	4,693	897	815	61	21
27年1月	25	3,337 (133)	2,080 (83)	3,568	865	766	63	36
2	27	4,012 (149)	2,184 (81)	4,108	1,030	939	62	29
3	29	3,881 (134)	2,000 (69)	3,305	1,190	1,086	66	38
計	320	42,990 (134)	26,082 (82)	53,204	12,737	11,444	966	327

## ウ 図書資料の相談

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を行っています。図書閲覧室のカウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

本年度の相談状況は、次のとおりです。

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	4,726	234	21	4,981
複写依頼	3,663	108	127	3,898
特定図書の所蔵調査	1,453	324	48	1,825
図書に関する書誌的調査	288	19	4	311
人名・地名等の読み方調査	42	11	5	58
人物・団体調査	126	28	26	180
内容調査	739	179	68	986
その他	407	63	28	498
計	11,444	966	327	12,737

### 〔相談事例〕

○昭和17（1942）年に京都府によって指定された特殊品目の和菓子18種を知りたい。

#### 【回答】

昭和17年12月に京都府によって「和生菓子特殊銘柄品の最高販売価格」に指定された和菓子は、昭和17年12月11日の『京都府広報』号外の京都府告示第1404号に記載されている。それによると、きぬた、竹裡、道喜ちまき、烏羽玉、御所羊羹、黄梁、祇園ちご餅、とりどり、煉羊羹、白外良、大清正御団、笹屋どら焼、味噌松風、益寿糖、柚餅、満月、高砂饅頭、虎屋饅頭の18種類。

○京の伝統野菜の中で絶滅しているものがあると聞いた。どのようなものだったか知りたい。

#### 【回答】

『京の伝統野菜』（京都府農林水産部）のp19によると、絶滅した京の伝統野菜は、郡（こおり）だいこん、東寺かぶ、聖護院きゅうりの3種類とされる。

郡だいこんについての詳細は『京の伝統野菜と旬野菜』のp17～18に、東寺かぶについては『現代にいきづく京の伝統野菜』のp18に、聖護院きゅうりについては『京の伝統野菜と旬野菜』p88～89と『現代にいきづく京の伝統野菜』のp68～76、p184にそれぞれ記載されている。また、郡だいこんと聖護院きゅうりの写真は『京の伝統野菜と旬野菜』のp143に掲載されている。

なお、『京の伝統野菜』（京のふるさと産品価格流通安定協会）のp2「京の伝統野菜一覧表」には、現存しないものとして郡だいこんと東寺かぶを挙げているが、聖護院きゅうりは現存するものとして記載している。

○歴代の京都市役所の写真を見たい。

#### 【回答】

『京都大辞典』のp286と京都市のウェブサイト「京都市庁舎の沿革」によると、現在の京都市役所は3代目で、昭和6（1931）年に完成した。設計は中野進一、武田五一（願

問)が担当した。建物の沿革、写真、平面図、立体図は『京都市の近代化遺産：産業遺産編』のp148～151に掲載されている。

明治28(1895)年に建築された初代市役所の写真は『京都府写真帖』のNo.14に、大正6(1917)年に建築された2代目市役所の写真は『京都の歴史；8』のp334と『京都市廳舎改築記念』にそれぞれ掲載されている。

○なぜ葬式では黒い服を着るのか。

【回答】

喪服については、『日本大百科全書；23』のp12～13に、以前は白い服を着ていたこと等が記載されている。また、『色の博物誌・白と黒：静かな光の余韻』のp34には、喪服が白から黒に変わった理由として、「明治以降に西洋の習慣が移入されたことによる」と記載されている。

なお、『京都の葬式と法要』のp170「喪服」の項目によると、昔は白を用いた理由として「特に喪主は死者の身代わりを務め、死に装束を身に着けるという意味もあった」と記載されている。白い喪服の写真は、『丹波に生活衣』のp38とp42に掲載されている。

○鴨川は加茂川や賀茂川とも書くが、使い分けに意味はあるのか知りたい。

【回答】

鴨川は、『京都大辞典』のp200や『京都の橋・河川・水路；1』のp152～167によると、京都市北区雲ヶ畑を水源とし、上京区の出町柳付近で北東から流れてくる高野川と合流した後、南方に進路を変えて伏見区下鳥羽で桂川に合流する。賀茂川、加茂川とも呼ばれ、現在は高野川との合流点までを賀茂川、以南を鴨川と記すのが通例とされる。また、河川法上は両者とも鴨川と総称する。

また、『京の鴨川と橋』のp5によると、古代は主に賀茂川と鴨川(河)が用いられ、特に厳密な使い分けはなかったこと、公文書では主に鴨川(河)の表記が用いられるようになったことが記載されている。なお、古くは加茂川、賀毛川、可茂川、鴨川、鴨河とも表記されていた。

○京都で節分に行われる「おぼけ」について知りたい。

【回答】

「おぼけ」は、『京都暮らしの大百科』のp91によると、節分に常とは違う装いに身をやつす風習のことで、祇園花街の行事とされているが、町人が舞妓・芸妓の格好をすることもあるとされる。

「おぼけ」については、『京のオバケ』に詳細が記載されている。また、『京都歳時記』のp49、『京のわる口、ほめころし』のp123～127、『京のあたりまえ』のp106～107にも掲載されている。

○聖アグネス協会が明治時代に建てられた際、金堂の塔の紋が菊に似ていたので変更されたと聞いた。変更前と変更後の様子が分かる資料はあるか。

【回答】

『近代名建築京都写真館：写真集』のp42～43によると、聖アグネス協会は明治31(1898)年に建設された京都市上京区下立売通烏丸西入ルにあるゴシック様式の赤レンガの建物で、平安女学院の礼拝堂とされる。

紋の変更前の写真については、『写真で見る125年史：平安女学院』のp27にあり、「会堂の塔の紋が菊に紛らわしいので取替えるよう警察から指示があった」と記載されている。また、同書のp29には明治34(1901)年の写真があり、紋が十字に変わっていることが分かる。

なお、『近代名建築京都写真館：写真集』のp42～43にも変更後の白黒写真があり、『写真で見る125年史：平安女学院』の写真よりもはっきりと十字であることが分かる。

\* 上記も含め当館で受け付けた相談事例の詳細は、

<http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/ref.html>でご覧いただけます。

また、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースにも登録しており、本年度は多くのアクセスをいただいたことから同館長から4回目の御礼状交付を受けました。

## エ 資料紹介コーナー

特定のテーマに関する図書や雑誌を集めた資料紹介コーナーを図書閲覧室に設け、総合資料館が所蔵する図書資料を広く紹介しました。

「吉田初三郎の世界」では、職員による展示解説も行いました。

テーマ	期間
和食 一再発見！日本の伝統食とその素材ー	平成26年2月13日～平成26年6月10日
生誕130年 吉田初三郎の世界 ・「描かれた景観」編 ・「鉄道とともに」編 ・「災禍で失われた風景」編	平成26年6月12日～平成26年9月9日 (6月12日～7月8日) (7月10日～8月12日) (8月14日～9月9日)
ユネスコ世界記憶遺産候補の決定 「東寺百合文書」の世界	平成26年6月16日～平成26年8月1日
企画展関連～高瀬川と京都の水運～	平成26年9月11日～平成26年10月19日
文化博物館「池大雅展」関連企画 「文人画～大雅と蕪村」	平成26年11月13日～平成27年1月13日

## (2) 文書資料

文書閲覧室は、古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧室で、35席あります。閲覧室に配架してある東寺百合文書写真帳、京都府布令書や写真資料コピーを自由に利用できるほか、デジタル画像の閲覧(一部は閲覧申請が必要)ができます。また、書庫内の文書資料は閲覧申請のうえ利用できます。

本年度の利用者数は2,481人(1日平均8人)、書庫資料閲覧点数は11,092点(1日平均35点)でした。

## ア 古文書の閲覧

### (7) 古代・中世文書の閲覧

館蔵文書は東寺百合文書(原本)が28人、476点でした。文書複製資料は東寺観智院聖教文書等が、152人、705点でした。

その他閲覧室に配架している東寺百合文書写真帳の利用も含め、合計192人、1,181点の利用がありました。

(イ) 近世・近代文書の閲覧

館蔵文書は若杉家文書、中井家文書、古久保家文書等が、574人、2,736点、寄託文書は谷口家資料、松岡家文書等が、16人、92点、文書複製資料は本光寺文書等が、5人、50点で、合計595人、2,878点の利用がありました。

イ 行政文書の閲覧

学術調査研究を目的とする一般の閲覧者は1,134人で5,175点の利用がありました。

また、府職員等の公務上の閲覧者は259人で1,507点の利用があり、閲覧者の合計は1,393人、利用点数の合計は6,682点でした。

文書閲覧室の利用状況

年月	開館日数	利用者数											
		古文書					行政文書			写真資料	近代文学資料	その他	合計
		古代・中世			近世・近代	計	一般閲覧	公務	計				
		閲覧	写真帳 東寺百合文書	小計						(人)	(人)	(人)	(人)
(日)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
26年4月	28	8	3	11	32	43	116	17	133	1	1	33	211
5月	27	11	2	13	40	53	95	19	114	1	3	28	199
6月	29	10	2	12	87	99	118	22	140	2	0	56	297
7月	29	23	0	23	114	137	137	12	149	2	0	17	305
8月	30	14	1	15	31	46	79	25	104	2	0	22	174
9月	27	9	1	10	22	32	93	25	118	0	1	20	171
10月	17	9	0	9	39	48	60	20	80	3	0	12	143
11月	27	21	0	21	49	70	95	40	135	4	0	20	229
12月	25	11	0	11	50	61	131	22	153	0	2	35	251
27年1月	25	15	0	15	64	79	68	16	84	0	0	19	182
2月	27	20	2	22	40	62	77	21	98	0	0	8	168
3月	29	29	1	30	27	57	65	20	85	0	0	9	151
合計	320	180	12	192	595	787	1,134	259	1,393	15	7	279	2,481

年月	開館 日数	書庫資料閲覧利用数								
		古文書			行政文書			写真 資料	近代 文学 資料	合計
		古代 ・ 中世	近世 ・ 近代	計	一般 閲覧	公務	計			
		(日)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)
26年4月	28	37	132	169	275	105	380	0	4	553
5月	27	28	98	126	320	126	446	0	17	589
6月	29	72	326	398	489	120	609	0	0	1,007
7月	29	90	335	425	642	118	760	16	0	1,201
8月	30	71	492	563	443	94	537	9	0	1,109
9月	27	23	78	101	477	126	603	0	37	741
10月	17	109	189	298	431	95	526	2	0	826
11月	27	95	276	371	409	265	674	238	0	1,283
12月	25	78	232	310	699	132	831	0	28	1,169
27年1月	25	53	247	300	287	90	377	0	0	677
2月	27	101	259	360	395	124	519	0	0	879
3月	29	424	214	638	308	112	420	0	0	1,058
合計	320	1,181	2,878	4,059	5,175	1,507	6,682	265	86	11,092

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

本年度は、合計7件、7点の特別観覧がありましたが、主なものは次のとおりです。

申請者の区分	部門	資料名	点数
個人	洋画	伊藤快彦「日本赤十字社京都支部総会出席者群像」	1
個人	日本画	今尾景年「安宅之関図」	1
個人	日本画	池大雅「一富士二鷹三茄子図（扇面）」	1
個人		民謡録音テープ（No. 350）	1
個人	版画	蘭花譜	1
個人	日本画	朝鮮通信使来朝図	1
個人	日本画	狩野永敬「十二ヶ月歌意図屏風」	1

## 10 東寺百合文書

### (1) ユネスコ世界記憶遺産の登録候補

ユネスコが実施する「記憶遺産」事業に関して、日本ユネスコ国内委員会文化活動小委員会は、2015（平成27）年のユネスコでの登録に向けて、『東寺百合文書』を国内から推薦する2件のうちの1件とすることを決定しました。記憶遺産登録に向けて、東寺百合文書のリーフレットを3,000部、作成しました。

### (2) 連続講座の開催（再掲）

ユネスコ世界記憶遺産候補となった『東寺百合文書』について、京都府立大学と共催で、連続講座「世界のなかの東寺百合文書」を開催しました。

### (3) 「東寺百合文書WEB」の二次公開

平成25年度末3月の一次公開に引き続き、4月に二次公開を行い、東寺百合文書全点の約80,000画像を公開しました。

東寺百合文書WEB <http://hyakugo.kyoto.jp/>

また、東寺百合文書WEBでの公開姿勢が評価され、NPO法人知的資源イニシアティブが表彰するLibrary of the Year 2014において当館が大賞を受賞したほか、オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構が表彰する勝手表彰においても「融合研究所賞」を受賞しました。

### (4) 翻刻

東寺百合文書をより広く利用してもらうために活字化した史料集の刊行を平成15年度に開始しました。本年度はその第11巻を刊行しましたが、概要は次のとおりです。

書名 「東寺百合文書 十一 子函三」  
内容 子函の一部212点。巻末に花押一覧を収録。  
体裁 A5判 455頁  
定価 10,260円（本体価格 9,500円）  
編集 京都府立総合資料館  
発行 株式会社思文閣出版  
発行日 平成26年10月1日

### (5) 百合通信の発行

東寺百合文書をより分かりやすく紹介し、親しみを持ってもらうため、「百合通信」1～4号を発行しました。

## 11 共同研究等

### (1) 大学等研究機関との共同研究(再掲)

当館所蔵資料等について、平成14年度（平成13年度は共同の事前調査）から府立大学文学部歴史学科との間で共同研究を行っています。本年度も、次のとおり、時代別研究を継続して行いました。

また、伊佐家襖下張資料を対象とした古文書整理の実習を行いました。

#### ◎時代別研究

時代	研究テーマ	対象資料	備考
近世	近世広域行政機関(京都町奉行所等)文書の研究	「元文四年 諸事日記」 (古久保家文書)	府立大学大学院講座「地域史研究」において対象資料を解読・分析

### (2) 大学学外授業等の受入れ

各大学の史料講読などの学外授業等に協力し、文献資料、古文書、行政文書等の概要及び閲覧制度、資料の取扱いなどを説明した後、実際に資料の閲覧をしていただきました。

受入年月日	受入大学名	受入学生数
平成26年4月25日	京都ノートルダム女子大学	31名
平成26年6月1日	佛教大学歴史学部	40名
平成26年11月7日	京都府立大学文学部	50名
平成26年11月20日	京都ノートルダム女子大学	5名
平成26年12月18日	京都工芸繊維大学	20名
平成27年2月10日	立命館大学文学部	8名
平成27年2月17日	福島大学人間発達文化学類	9名

### (3) 大学への出講

京都府立大学文学部の「博物館実習講義(学芸員課程)」、成安造形大学の「博物館資料論(集中講義)」、京都工芸繊維大学工芸科学部「歴史学(京都の近代史)」に出講しました。

### (4) その他

- ・京都市文化財マネージャー上級講座(建造物)の演習 平成26年12月6日
- ・平成26年度資料デジタル化研修講師派遣(国立国会図書館関西館) 平成26年10月24日
- ・土地家屋調査士会の研修対応 平成26年7月16日(みやこ南支部)  
平成26年12月3日(西山支部)
- ・平成26年度滋賀県内歴史的公文書等担当者会議講師派遣 平成27年1月28日

## 12 図書館実習・インターンシップ

司書資格取得を目指す学生を対象とした図書館実習及び将来へ向けての職場体験を目的としたインターンシップを次のとおり受け入れました。

### (1) 図書館実習

龍谷大学学生 2名 8月5日～8日 4日間

同志社大学学生 2名 8月19日～22日 4日間

### (2) インターンシップ

立命館大学学生 2名 9月16日～19日、24日～25日の6日間

## 13 館蔵資料の撮影と複写

館蔵資料を調査研究、出版等に使用するための特別撮影及び利用は 354件、1,173点でした。

また、館蔵資料の複写利用は11,320件、235,541枚でした。

特別撮影及び利用状況

資料種別	件数	点数
図書資料	114	388
文書資料	212	756
古文書	32	106
行政文書	141	463
写真資料	32	153
近代文学資料	7	34
管理委託現物資料	28	29
合 計	354	1,173

複写状況

複写種別	図書資料		文書資料		合計	
	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数
電子式複写		白黒		12,345		216,337
		カラー		554		6,590
(撮影)	10,829	—	491	—	11,320	(11,564)
画像プリント ※		3,216		3,617		6,833
マイクロデータプリンター		4,743		1,038		5,781
合 計	10,829件	217,987枚	491件	17,554枚	11,320件	235,541枚

※撮影は、複写枚数に含まない。

## 14 資料の貸与

本年度、展覧会の展示等のため、次のとおり館蔵資料の館外貸与を行いました。

### (1) 図書資料

本年度は、次のとおり、合計 11件、100 点の貸与を行いました。

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	サントリー美術館 『徒然草—美術で楽しむ古典文学』展	つれつれ私抄 3巻	1
2	京都国立近代美術館 2014 年度特別展 『うるしの近代—京都、「工芸」前夜から』	京都図案 光悦談叢 工芸図鑑 ほか	7 1 3 18
3	舞鶴市教育委員会 海の総合展 『はじまりは海』	本朝食鑑 12巻 日本山海名物図会 5巻	1 1
4	京都公立大学法人 『京都学事始展—近代京都と三大学—』	京都名所大鳥瞰図	1
5	斎宮歴史博物館 平成 26 年度特別展 『伊勢と熊野の歌』	二十一代集 22部 風雅和歌集 10巻	4 1
6	和泉市久保惣記念美術館 特別展 『微の美術—日本・中国の小ささと緻密さの造形日—』	京都名所洛東遊覧交通図絵、 京都名所洛西遊覧交通図絵(扇子)	1
7	大山崎町歴史資料館 第 22 回企画展 『離宮八幡宮と中世の灯明油』	都名所図会 6巻 和漢三才図会 105巻首 1巻尾 1巻	1 1
8	京都府京都文化博物館 平成 26 年度総合展示 『池大雅美術館コレクション寄贈記念 池大雅』展	大雅堂画法 3巻	3
9	京都府京都文化博物館 平成 26 年度総合展示 『幕末明治の京都の日本画』展	景年花鳥画譜	4
10	京都府京都文化博物館 平成 26 年度総合展示 『世界考古学会議京都開催決定記念近世京都の考古学者たち』展	集古図 22巻 集古図 26巻 御陵図絵 2巻	22 26 2
11	サントリー美術館 『生誕三百年 同い年の天才絵師 若冲と蕪村』	平安人物志(明和 5 年) 平安人物志(安永 4 年)	1 1

(2) 文書資料

ア 古文書

本年度は、次のとおり、合計 7 件、31 点の貸与を行いました。

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数	区分
1	和歌山市立博物館 夏季特別展「荘園の景観と絵図」	東寺百合文書	4	古代・中世
2	熊本県立美術館 平成26年度第Ⅲ期細川コレクション特集「信長からの手紙」	革嶋家文書	1	
3	大山崎町歴史資料館 平成26年度第22回企画展 「離宮八幡宮と中世の灯明油」	東寺百合文書	9	
4	東京国立博物館 「日本国宝展—信ずるかたち—」	東寺百合文書	12	
5	横浜市歴史博物館 平成26年度特別展「佐久間象山と横浜」	人のうわさ	1	近世・近代
6	京都文化博物館 特別展「京を描く—洛中洛外図の時代—」	近江屋吉左衛門家文書	2	
7	大山崎町歴史資料館 平成26年度第22回企画展 「離宮八幡宮と中世の灯明油」	中井家文書	2	

イ 行政文書

本年度は、ありませんでした。

ウ 近代文学資料

本年度は、次のとおり、合計 2 件、25 点の貸与を行いました。

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
	堺市博物館「与謝野晶子と小林天眠の長き交流」	天眠文庫資料	19
	山梨県立文学館「谷崎潤一郎展」	吉井勇資料	6

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計 21 件の貸与を行いました。主な貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会の目的	部門	資料名
1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇のため	日本画	上村松篁「花の中」ほか
2	京都国立近代美術館ほか	「上村松篁（仮称）」展に出品のため	日本画	上村松篁「縞白鷗」ほか
3	平野喜久夫	60周年記念個展「平野喜久夫記念展」に出展するため	染織	源氏物語 朧月夜

4	京都府商工労働観光部 染織・工芸課	京都迎賓館の一般参観開催期間に展示するため	染織	夢浮橋
5	中信美術館	「京の絵本原画展」のため	日本画	入江酉一郎「竹取物語」ほか
6	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇のため	日本画	木下章「光悦寺の萩」ほか
7	瀬戸内市立美術館	「司馬遼太郎著・西山英雄装画「播磨灘物語」展 官兵衛の世界を描く」のため	日本画	西山英雄「播磨灘物語」
8	徳川美術館ほか	春期特別展「復古やまと絵 新たなる王朝美の世－納言・一恵・為恭・清－」展に出品のため	日本画	田中納言「中井延清像」ほか
9	神奈川県立歴史博物館	特別展「白絵－祈りと寿ぎのかたち－」展のため	日本画	(伝)原在中「白絵屏風」ほか
10	一宮市三岸節子記念美術館	特別展「きよけく 森田りえ子」展のため	日本画	森田りえ子「朝の月」
11	奈良県立美術館	特別展「語り継ぐココロとコトバ 大古事記展」に出品のため	日本画	鈴木松年「八岐大蛇退治図」ほか
12	黒川古文化研究所	秋期展観「第112回展観 円山応挙の門人たち」に出品のため	日本画	長沢蘆雪「美人図」ほか
13	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇のため	陶芸	六代清水六兵衛「芒花瓶」
14	向日市文化資料館	「昭和の向日町と文人」展に出品のため	陶芸	河合卯之助「牡丹と蝶文色絵飾壺」ほか
15	大阪市立美術館	特別展「うた・ものがたりのデザイン」に出品のため	染織	染分縮緬地源氏物語文様友禅染小袖」ほか
16	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇のため	日本画	川島陸郎「秋叢」いのちの賛歌27ほか
17	サントリー美術館	「仁阿弥道八」展に出品のため	陶芸	初代高橋道八「芋頭水指」ほか
18	京都市美術館	「京焼歴代展－新世紀京焼の継承と展開」展に出品のため	陶芸	尾形周平「染付赤壁附急須」ほか
19	京都府立植物園	90周年記念「蘭花譜展」に出品のため	版画	「蘭花譜」
20	長浜市曳山博物館	企画展「三大山車祭のヤマと資料展」に出品のため	絵馬図書	「都名所図会」ほか
21	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇のため	日本画	猪熊佳子「杜の雫」いのち賛歌10ほか

## 15 図書館間相互貸出

### (1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、本年度、27館、59冊の貸出し、2館、12冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	3	11	南丹市日吉図書室	1	—
向日市立図書館	1	—	福知山市立図書館中央館	1	—
長岡京市立図書館	3	—	舞鶴市立東図書館	2	—
大山崎町立中央公民館図書室	1	—	舞鶴市立西図書館	4	—
宇治市中央図書館	3	—	与謝野町立図書館	1	—
城陽市立図書館	3	—	与謝野町立図書館野田川分室	1	—
京田辺市立中央図書館	2	—	与謝野町立図書館加悦分室	2	—
木津川市立中央図書館	1	—	京丹後市立図書館峰山図書館	1	—
木津川市立加茂図書館	2	—	京丹後市立図書館大宮図書室	1	—
笠置町中央公民館図書館	1	—	京丹後市立図書館久美浜図書室	1	—
和束町体験交流センター図書室	3	—	京都市中央図書館	4	—
亀岡市立図書館中央館	2	—	京都市右京中央図書館	8	1
南丹市立中央図書館	1	—	京都市移動図書館	1	—
京都学園大学図書館	5	—		—	—
			計	59	12

### (2) 国立国会図書館

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、平成26年度の借受利用は、5件、8冊でした。



(2) 職員数

	職 員（再任用を含む）	嘱 託
館 長	1	—
顧 問	—	1
副館長	1	—
庶務課	10 ※	2
文献課	15	11
歴史資料課	11	3
計	38	17

注 副館長は庶務課長事務取扱であり、※の数に課長は含まない。

(3) 業務分担

ア 庶務課

- 1 総合資料館の整備計画に関すること。
- 2 規程等の制定改廃に関すること。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関すること。
- 4 広報及び文書事務等に関すること。
- 5 予算、決算及び会計事務に関すること。
- 6 財産の管理、運営及び庁舎の警備に関すること。
- 7 調査・研究機関との連携及び生涯学習事業の企画に関すること。
- 8 (公財)京都文化財団への業務委託及び総合資料館友の会に関すること。
- 9 保安業務に関すること。
- 10 他課の所管に属さないこと。
- 11 新館の整備に関すること

イ 文献課

- 1 図書等資料の収集、整理及び保存に関すること。
- 2 図書等資料の閲覧、利用及びレファレンスに関すること。
- 3 図書等資料の普及に関すること。
- 4 図書閲覧室及び書庫の管理運営に関すること。
- 5 関係機関との連絡調整に関すること。
- 6 新館の整備に関すること

ウ 歴史資料課

- 1 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の調査、収集、整理及び保存に関すること。
- 2 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧及び利用に関すること。
- 3 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の普及に関すること。
- 4 文書閲覧室及び文書庫の管理運営に関すること。
- 5 関係機関との連絡調整に関すること。
- 6 新館の整備に関すること

(4) 予算状況（平成27年度当初予算）

（単位：千円）

区 分	予算額	説 明
図書収集整理閲覧事業	6,897	資料等の収集・閲覧等
文化資料収集展示事業	44,345	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
歴史資料収集公開事業	853	古文書、行政文書の収集・整理等
総合資料館館蔵資料保存・活用推進事業	1,212	展覧会、公開講座の開催等
重要文化財京都府行政文書修理事業費	8,000	京都府行政文書の修理・補修費用
新総合資料館(仮称)統合情報システム整備費	47,805	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの構築等
京都の記憶遺産デジタルアーカイブ事業費	35,000	貴重書、絵画、歴史的公文書の電子画像化
計	144,112	

\* 管理費を除く

## 18 平成26年度の主な活動

平成26年

- 4月2日 展覧会「東寺百合文書―地域の記憶とその継承―」（文化博物館）（～6/22）
- 4月18日 共同研究（地域史演習）
- 4月25日 共同研究（地域史演習）
- 4月30日 京都ノートルダム女子大学司書課程見学  
資料収集（労政課収集対象資料調査）  
島津製作所創業記念資料館から見学
- 5月1日 資料収集（第32回春の古書大即売会）
- 5月9日 共同研究（地域史演習）  
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（以下「全史料協」）近畿部会運営委員会
- 5月14日 資料収集（労政課・企画統計課）
- 5月21日 京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業実行委員会  
(花園大学)
- 5月22日 全史料協近畿部会役員会  
京都造形芸術大学佐藤教授来館
- 5月23日 共同研究（地域史演習）  
堺市立博物館・池田眞理子氏来館  
全史料協大会・研修委員会（筑波大学 東京キャンパス）
- 5月30日 共同研究（地域史演習）
- 6月6日 共同研究（地域史演習）
- 6月9日 全国公文書館長会議（札幌市）（～6/10）
- 6月10日 マケドニア博物館学芸員来館
- 6月11日 京都府図書館連絡協議会（以下「京図連協」）第1回相互協力委員会（府立図書館）
- 6月12日 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定  
京図連協第1回広報委員会（府立図書館）  
資料紹介コーナー「吉田初三郎の世界」（～9/9）、展示資料解説（6/20、6/26、7/4、7/10、7/31、8/7、8/14、8/28、9/4）
- 6月13日 共同研究（地域史演習）
- 6月17日 全史料協近畿部会（徳島県立文書館）
- 6月19日 京図連協第1回研修研究委員会（府立図書館）
- 6月25日 韓国イム・ジンヒ博士の来館
- 6月26日 国立国会図書館長と都道府県及び政令指定都市立図書館長との懇談会（国立国会図書館）
- 6月27日 共同研究（地域史演習）  
平成26年度全国公共図書館協議会総会及び研究集会（東京都立中央図書館）
- 6月30日 総合資料館友の会役員会
- 7月1日 近畿公共図書館協議会総会（大阪府立中央図書館）
- 7月3日 文書主任研修出講（南部）（福利厚生センター）
- 7月4日 共同研究（地域史演習）  
文書主任研修出講（北部）（丹後保健所）
- 7月10日 京都府立大学古文書実習
- 7月18日 共同研究（地域史演習）
- 7月28日 全史料協大会・研修委員会（九州大学）  
国文学研究資料館運営会議（東京都）
- 7月31日 寺子屋講座「学ぼう！琵琶湖疏水」
- 8月5日 図書館実習生受入（龍谷大学）（～8/8）  
京都府立宮津高等学校来館
- 8月7日 全史料協近畿部会（大阪市立総合学習センター）
- 8月8日 文化資源情報ネットワーク会議（セントノーム京都）  
共同研究（文化財実習）
- 8月12日 京都府立須知高等学校資料観覧
- 8月19日 図書館実習生受入（同志社大学）（～8/22）
- 9月13日 企画展「高瀬川開削400年記念―高瀬川と京都の水運―」（以後「高瀬川展」）（～10/12）

- 9月16日 インターンシップ受入（立命館大学）（～9/25）
- 9月18日 企画展「高瀬川展」列品解説
- 9月25日 企画展「高瀬川展」列品解説
- 9月27日 東寺百合文書連続講座第1回（京都大学芝蘭会館）
- 10月2日 友の会「結成50周年記念行事」記念対談  
企画展「高瀬川展」講演会
- 10月6日 中国廈門大学鄧教授来館
- 10月8日 京図連協中級者研修
- 10月9日 佐賀県議会文教厚生常任委員会視察
- 10月18日 京都府立鴨沂高等学校フィールドワーク授業来館
- 10月20日 蔵書点検（～10/31）
- 10月26日 東寺百合文書連続講座第2回（キャンパスプラザ京都）
- 11月3日 国際京都学シンポジウム「都市と農村のロハスな関係」（府大稲盛記念会館）
- 11月5日 古典の日・読書週間記念講演会：資料展示協力（府立図書館）
- 11月7日 府立大学授業  
Library of the Year 2014 大賞受賞（パシフィコ横浜）
- 11月13日 資料紹介コーナー「文人画～大雅と蕪村～」（～1/13）  
全史料協全国大会（九州大学）
- 11月15日 東寺百合文書特別陳列（～11/16）  
池大雅美術館コレクション寄贈記念講演会（文化博物館）
- 11月16日 友の会列品解説
- 11月20日 総合資料館友の会見学会（佐川美術館・滋賀県、パラミタミュージアム・三重県）
- 11月26日 東寺百合文書桐箱等調査（石川県立歴史博物館）
- 11月27日 京図連協中部研修（府立図書館）
- 11月28日 共同研究（地域史演習）  
京図連協北部研修（宮津市福祉センター）
- 11月30日 東寺百合文書連続講座第3回（キャンパスプラザ京都）
- 12月2日 重文行政文書修理視察（北海道立文書館）
- 12月3日 京図連協南部研修（久御山町ふれあい交流館ゆうホール）
- 12月5日 共同研究（地域史演習）  
京図連協第2回広報委員会（府立図書館）
- 12月8日 京都学へのいざない講座第1回（府立大学）
- 12月12日 共同研究（地域史演習）
- 12月14日 東寺百合文書連続講座第4回（府立大学）
- 12月15日 古文書入門教室（府立大学学生会館）（～12/17）  
図書館基礎講座2014 in関西（大阪市立中央図書館）
- 12月18日 行政文書団体利用案内（京都工芸繊維大学）
- 12月21日 地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム「乙訓地域の史料を守り、伝える」（向日市文化資料館）
- 12月24日 新図書館システム稼働
- 1月13日 京都学へのいざない講座第2回（Coffee House 拾得）
- 1月19日 京都府本庁ロビー展示（行政文書）（～23日）
- 1月19日 琵琶湖博物館、図書館システムの運用に関して調査のため来訪
- 1月21日 京都府立大学古文書実習
- 1月24日 日本古文書学会研究会
- 1月28日 京都の「地蔵」信仰と地蔵盆を活かした地域活性化事業実行委員会
- 1月29日 京都学へのいざない講座第3回（府立大学学生会館）
- 2月1日 Library of the Year 2014 大賞受賞報告会
- 2月4日 全史料協近畿部会
- 2月4日 図書館地区別研修（近畿地区）（エル・おおさか）

2月10日	行政文書団体利用案内（立命館大学）
2月12日	京都市立西京高等学校、資料保存に関する調査のため来訪
2月15日	京都学へのいざない講座第4回（府立大学学生会館）
2月17日	福島大学見学 京都大学国際交流センター留学生・教員来館
2月18日	歴史資料解読講座（府立大学）（～2/20）
2月20日	全史料協役員会（広島県立文書館）
2月21日	国文学研究資料館から古典籍調査
2月22日	お地蔵さまサミット（キャンパスプラザ京都）
3月4日	京図連協相互協力実務担当者会議（府立図書館）
3月7日	国際京都学シンポ「いっぷくどうどす一名所記と宇治茶の世界」 （府大稲盛記念会館）
3月11日	総合資料館バックヤードツアー
3月12日	地域活性化事業実行委員会
3月14日	寺子屋講座 京都の歴史を歩こう！2015－上賀茂編－

## 19 沿革

昭和 34.	34 年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6	「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8	起工式
37. 11. 10	定礎式
38. 10. 28	設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和 38 年条例第 29 号）
38. 11. 15	開館式及び祝賀会を挙げる。翌 16 日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・ 経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一 係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3 部 9 係）
39. 2. 21	文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1	機構改革（係を課とし、3 部 9 課）
39. 11. 14	「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4	京都府開庁 100 年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事 業を開始
41. 6	民謡調査を開始
42. 8. 11	「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23	京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3 部 1 室 9 課）
43. 11	昔話調査を開始
45. 4	『京都新聞』（明治 18 年～昭和 44 年）のマイクロフィルム作成事業を開 始
45. 8. 6	「古文書講習会」を開始

- 45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の3部1室5課）
- 45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2階展示室）を開設
- 45. 12 資料の寄託制度を開始
- 46. 1. 1 『資料館だより』創刊
- 46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
- 46. 7. 15 第2収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建 延274.76㎡）
- 46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
- 47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
- 47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
- 48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡）
- 48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
- 48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
- 48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
- 49. 4 有形民俗資料調査を開始
- 49. 8 教科書を収集
- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
- 51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 1 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される

- 56.9.10 第1回「古文書教室」を開催
- 57.4 古文書センター推進事業に着手
- 57.7.4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58.4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58.4.19 「軽読書室」を閉鎖
- 58.5.18 「京都府行政情報資料センター」を開設  
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58.10.14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59.4.1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59.4.14 「革嶋家文書」及び「袈裟襷文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
- 60.5.16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
- 61.7.1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
- 62.5.12 「古文書相談」を開始
- 63.3.29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和63年10月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和63年条例第3号）を制定公布
- 63.4.14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
- 63.4.18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の3課2係）  
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
- 63.9.30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止  
「京都府行政情報資料センター」を廃止
- 63.10.1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元.4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始  
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元.10.20 第1回「文化講座」を開催
- 2.10.8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
- 3.5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
- 4.4.1 日本図書館協会に再加入
- 4.7.1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
- 5.4.1 定例休館日を毎月20日から毎月第2水曜日に変更
- 5.5.20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
- 5.11.7 開館30周年記念事業「北山まつり」を開催

- 6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
- 9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
- 9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される
- 10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
- 10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
- 11. 4 京都府 20 世紀歴史資料保存事業を開始
- 12. 4 京都府 20 世紀資料整理事業を開始
- 12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
- 12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される
- 13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を 4 階から 3 階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
- 14. 7. 19 ホームページを開設
- 14. 11. 26 「古文書解読講座」を開始
- 14. 12 「京の文化振興プラン（その 1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
- 15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
- 15. 11. 15 開館 40 周年を迎える
- 16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第 1 巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16. 4. 1 「総合資料館所蔵資料データベース ー京都北山アーカイブズー」の公開開始
- 19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の 3 機関が包括協定を締結
- 21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
- 21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21. 10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表

21. 10. 17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を  
 ~11. 26 開催
22. 5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
23. 4. 6 } 東日本大震災 災害ボランティア派遣  
 ~12  
 23. 5. 26 }  
 ~6. 2 }
23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
23. 7. 22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
23. 10. 14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
23. 11. 16 新資料館設計協議結果展  
 ~22
24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研  
 究（ACTR）を開始
24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定
25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日  
 本ユネスコ国内委員会から推薦決定
25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
25. 11. 15 開館50周年を迎える
25. 11. 16 開館50周年記念シンポジウムを開催
26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコ  
 へ提出
26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補  
 として選定
26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（平成27年3月31日現在）

No.	種 別	資 料 名	点数等	概 要
1	国 宝 (平9. 6. 30 指定)	東寺百合文書	18,646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1,000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭56. 6. 9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14. 6. 26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15. 5. 29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43. 4. 25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59. 4. 14 指定)	袈裟襷文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21. 3. 24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

## 交通案内



京都市営地下鉄  
烏丸線・北山駅下車(①出口)

市バス ④ ⑧  
北山駅前下車

京都バス ④⑤ ④⑥  
前萩町下車



## 休館日

毎月第2水曜日、祝日法に規定する祝日（日曜日の場合は振替休日）、  
年末年始（12月28日～1月4日）、蔵書整理期（不定）

## 開館時間

午前9時から午後4時30分まで

## 総合資料館 業務概要

— 平成26年度のまとめ —

---

発行日	平成27年7月
編集・発行	京都府立総合資料館
	〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
	電話 075-723-4831
	ファクシミリ 075-791-9466
	ホームページ <a href="http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/">http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/</a>
	Eメールアドレス <a href="mailto:shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp">shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp</a>

---

